



## 3年生が福祉体験授業



前途洋々

12月22日（月）の5・6時間目、3年生が福祉体験授業に臨みました。講師は、宇城市社会福祉協議会の皆様（頻繁にお世話になっています）。この日は、「ブラインドウォーク体験」「車椅子体験」を実施しました。共通して示された目標として、「相手のことを考えてみよう」というものがありました。どういう声かけがあつたらいいか、何をしてもらったら助かるかといったことが実感できる時間だったと思います。ブラインドウォークではアイマスクをして、友だちの支援を受けながら前に進むのですが、途中にちよつとした段差もあり、声をかける方も、しっかり考えて支援しなければならない難しさを感じていたようでした。子供たちからは、「どういった声かけをすればいいか難しかった」「少しの段差でも不安だった」との感想が聞かれました。車いす体験では、段差を越えることが難しい様子でした。しかしながら、この2時間で学んだことは、とても大きかったようです。



## 4年生が国語で三角小学校と合同授業！

4年生が国語の「ごんぎつね」の単元を学習していることは、以前お伝えしましたが、単元のゴールを、「物語を通した『兵十（ひょうじゅう）：登場人物の名前』か『ごん（主人公のきつねの名前）』の気持ちの変化を登場人物になりきって手紙に表し、三角小学校の4年生に伝えよう」としていました。

兵十とごんは、お互いの真意をわかり合えないまま最後の場面を迎えるのですが、もし、お互いに気持ちを表現し合えたなら・・・ということで、登場人物になりきって、相手への手紙を書くことが単元のゴールです。

本校の4年生、三角小の4年生どちらも同じ活動に取り組み、本校から三角小へ出向いて、実際に書いた手紙を、班で交流し合いました。「どの手紙が登場人物の気持ちに近いだろうか」「自分の考えたことに近い手紙はどれだろうか」などの視点をもってお互いに読み合いました。

さて、三角小へ出向いたのは、12月23日（火）のこと。私も同行させてもらいました。普段少人数でしか授業を受けない子供たちは、教室に、いつもよりずっとたくさんの人がいる状況に少し緊張しながらも、とてもいい表情でした。小小連携はとても大切です。いずれは同じ中学校で生活する子供たちですから・・・。また、より多くの人の表現や価値観に触れる必要です。頻繁にはできないことですが、少人数の弱みを克服するためにも、ときにはこのような機会を設けることが大切になってきます。

班での交流は活発かつ和やかで、お互いの手紙を読み合ったあと、それぞれお返しをしていました。また、最後の振り返りの場面では、「また一緒に勉強したい」「とても楽しい学習だった」「知らなかつた考えを知ることができた」など、様々な意見が出ていました。今後、違う学年でも定期的に今回のような機会が持てたらいいなと心から思った一コマでした。三角小の先生方、児童のみなさん、本当にありがとうございました。

班で手紙を読み合い、お返しを書いて伝えます。



授業の最後に、全員で記念撮影。よく頑張りました！



班の代表として、全体で手紙を読む児童。

